

### 9.3.2 生物環境

調査対象地域東端に位置するアラヤット山の森林の伐採が進み、問題となっている。アラヤット山周辺では多数の避難民が生活しているが、道路網が寸断されているためにガス、灯油の入手が困難であり、また彼等の収入が少ないことから近くで安く手にはいる木材の使用量が増加したために、伐採が進んだ。したがって、伐採を抑制するためには道路網を復旧させるとともに農業活動を早急に再開させ、同地域の生活レベルをピナツポ火山の噴火前と同じ程度まで向上させなければならない。

また、斜面、堤防の安定性を高めるために木または竹を植えることが考えられている。木や竹は野生動物のすみかとなるほか、維持管理のための新規雇用を創出するという効果も期待できる。

### 9.3.3 社会環境

比国政府は、サコピアーバンバン川流域に位置するサンドポケットを緊急構造物と位置付けている。土砂制御施設としてのサンドポケットの利用は2000年に及ぶ計画であり、この間地主は農業活動による収入を得ることができないため土地所有者に免税措置を行なっているが用地買収の対象にはなっていない。河川改修後には地主に返還されるが、この間の農業活動による収入を得ることができないのも事実である。河川改修後にすぐにも農地復興整備実施できるためには、農業省、国家かんがい局、州政府など政府関係諸機関によるサンドポケット内の農地整備計画を至急実施する必要がある。

また、恒久構造物の建設が計画されている土地を所有していた農民は所有地を手放さざるをえないため、彼らに新規雇用機会を与える必要がある。

## 9.4 環境マネジメント/モニタリング計画

本調査で提案した環境マネジメント計画と環境モニタリング計画は以下のとおりである。

### (1) 環境マネジメント計画

- ・サコピアーバンバン川流域
  - サンドポケット用地の農民の保護
  - 農業開発計画（土壌の回復、パイロット栽培、灌漑開発）
  - アラヤット山の木材伐採抑制（道路修復等）
- ・アバカン川流域
  - 農業開発計画（土壌の回復、パイロット栽培、灌漑開発）
  - アラヤット山の木材伐採抑制（道路修復等）

### (2) 環境モニタリング計画

- ・サコピアーバンバン川流域
  - アラヤット山の木材伐採の監視
  - イナゴの大発生の監視
  - タスクフォースの結成
- ・アバカン川流域
  - アラヤット山の木材伐採の監視









JICA